南山っ子通信

長崎南山小学校
学校生活だより
令和３年７月号
担当〔山田〕
NO.102

領収書の話！　請求書の話！

子どもたちは，神父様やシスター，先生方から「祈りとは神様とお話をすることだよ」と教えられています。その通りです。心を神様に向けて神様とお話をすること，それが祈りです。

６月号でお知らせした「ご聖体訪問」でも，子どもたちは，ご聖体の中におられるイエス様に心を向けてイエス様とお話をしています。

ところで，祈りには４つの種類があるといわれます。（賛美）（感謝）（願い）（赦し）の４つの祈りです。

・１番目は，賛美の祈り

わたしたちは，この世界を創り，いつも見守ってくださる天のお父様，全知全能の神様を讃えて，「慈しみ深い父よ」「あなたに賛美を捧げます」「み名が聖とされますように」などと賛美の祈りを捧げます。

・２番目は，感謝の祈り

わたしたちは恵みの与え主である神様に，「今日一日無事に過ごせたこと」や「日々の数々のお恵み」に対して感謝の祈りを捧げます。

・３番目は，願いの祈り

家族の幸せのこと，世界平和のこと，健康のこと，勉強や運動のこと，わたしたちの心配事や願い事，希望は数限りなくあります。その一つ一つを神様が聞き入れてくださるように，わたしたちは願いの祈りを捧げます。

・４番目は，赦しの祈り

わたしたちは人間としての弱さのために，親に対して，兄弟姉妹に対して，友達に対して，そして神様に対して罪を犯します。その度に心から後悔し反省をし，慈しみ深い神様に赦しの祈りを捧げます。

ところで，わたしたちの祈りには，（願い）と（赦し）の祈りばかりが圧倒的に多くて，（賛美）と（感謝）の祈りは少ないとよくいわれます。「神様，ああしてください，こうしてください」「ごめんなさい，赦してください」は，よく口にしても，「神様，あなたはすばらしい方，あなたが創られたこの世界はなんと美しいのでしょう」「神様，たくさんのお恵みをありがとうございます」などの言葉は少ないというわけです。

ある神父様から，「願いと赦しは請求書の祈り，賛美と感謝は領収書の祈りである」というお話を聞いたことがあります。請求書の祈りばかりが多いわたしたちですが，領収書の祈りも忘れないようにしたいものです。

一方，話す相手がお父さんやお母さんである家庭の中では，領収書の祈りや請求書の祈りは，領収書の話・請求書の話に置き換えて考えることもできるように思います。

「お母さん，そのお洋服，素敵ね。よく似合ってるよ。」　（ 賛 美 ）

「お母さん，遠足のお弁当，ありがとう。とってもおいしかったよ。」　（ 感 謝 ）

「お父さん，今度の日曜日，魚釣りに行こうよ。連れてって，ねえ，お願い。」（ 願 い ）

「サッカーしてたら，お父さんの大事な植木鉢，壊してしまった－。ごめんなさい。」（ 赦 し ）

このような領収書の話や請求書の話に限らず，家庭の中では，これらの枠に入らない様々な会話がいくらでも飛び交います。幼い子は，特に用事がなくても，「ねえ，お母さん」とだけ呼びかけたりします。そして，お母さんに「なあに」と応えてもらうだけで安心するのです。日常の何気ない会話から親子の結び付きや温かい心の通い合いが生まれ，そこから子どもの健全な人格形成がなされます。

ところが，やがて小学校を卒業し，中学生・高校生と子どもが大人への階段を上り始める頃になると，こちらが話しかけても応えてくれないようなことは，決して珍しいことではなくなってきます。有り余るほど話し込む，お釣りが出るくらいに語り合うのは，子どもが小学生の今のうちだけだといってもいいかもしれません。

そういった意味から，お子様が家庭で過ごす機会が多い夏休みは絶好のチャンスです。領収書の話でもいいです。請求書の話でもいいです。どんなことでもいいです。１０年先，２０年先に，「あの頃いっぱい話していてよかった」と思えるくらいに，親子でのおしゃべり大会をいっぱいしてもらいたいと思います。

規則正しい生活リズムの夏休みを！

子どもたちが楽しみにしている夏休みがやってきます。学校から出される「夏休みの生活について」のお知らせや，小冊子「南山っ子の約束」に目を通し，親子で確認をし合って，有意義な夏休みを過ごしてもらいたいと思います。中でも，これまでの生活リズムが崩れることのないように，早寝ね・早起き，十分な睡眠時間の確保には，特に心がけてもらいたいと思います。

長期休業中にしかできない体験やチャレンジ，お手伝いなどをいっぱいし，大きく成長する夏休みにしてもらいたいと思います。

♧♧ 教室紹介 ♧♧

５年２組　担任　小泉　美佳 先生

高学年の仲間入りをした５年生。委員会活動が始まり，２組の子どもたちも学校全体のため，任せられた活動に意欲的に取り組んでいます。新型コロナウイルスの感染段階ステージが下がり，全校朝礼も体育館に一同に集まってできるようになりました。各委員会からのお知らせの場も与えられ，元気に発表しています。

５年２組のスローガンは「合う」です。「学び合う」「笑い合う」「助け合う」「励まし合う」「分かり合う」「分かち合う」そして，「成長し合う」といった子どもたちの思いが込められています。

男女の分け隔てなく仲のよい子どもたちは，みんな遊びがとても上手です。ややもすれば，勝ち負けにこだわりがちな遊びやゲームでも，後味の悪いような争いごとは少しも見られません。帰りの会でも，毎日のように友達のよかった点を見つけ進んで発表してくれています。

明るくて元気，気持ちのよいあいさつができる５年２組の長所をこれからもますます伸ばしていき，高学年として南山小学校を立派にリードしていってもらいたいと願っています。

♪アーメンハレルヤ

1　せかいのみんな　きょうだいさ
はなすことばが　ちがっても
主にむかう　こころは
みんなおなじ　こどもだから

※アーメン　ハレルヤ　アーメン　ハレルヤ
アーメン　ハレルヤ　アーメン　ハレルヤ

2　せかいのみんな　ともだちさ
はたらくばしょが　ちがうけれど
主にむかう　こころで
ひとつになって　分かつちから

※